

WHO ファクトシート

死亡原因トップ 10

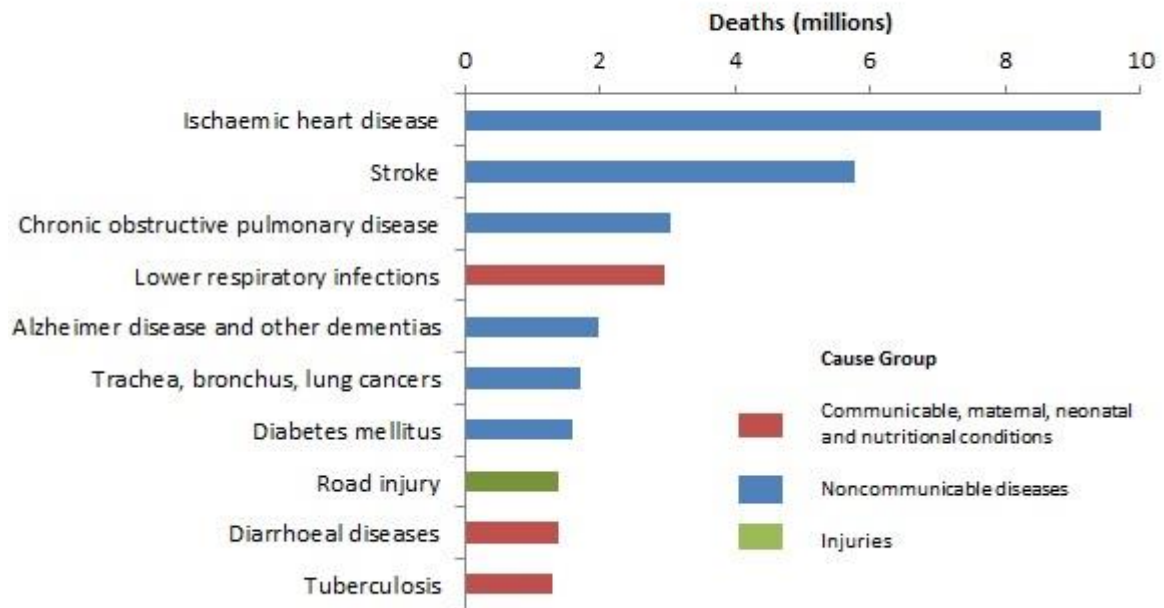
The top 10 causes of death

2018 年 5 月 24 日

世界の死亡原因トップ 10

2016 年の世界全体で 5690 万人の死亡のうち、半分以上（54%）はトップ 10 の原因によるものであった。虚血性心疾患と脳卒中は、2016 年あわせて 1520 万人の死亡を数え、最大の死亡原因である。これらの疾病は、過去 15 年の世界の主要死亡原因であり続けている。慢性閉塞性肺疾患は 2016 年 300 万人の命を奪う一方、肺がん（気管及び気管支のがんを含む）は 170 万人の死亡原因となった。糖尿病は 2000 年には 100 万人以下だったのが増加し、2016 年には 160 万人の死亡原因となった。認知症による死亡は 2000 年から 2016 年の間に倍以上となり、2000 年の世界の死亡原因第 14 位に対し 2016 年では第 5 位となった。下気道感染症は、死亡原因となる最も多い感染症であり続けており、2016 年世界で 300 万人が死亡している。下痢性疾患による死亡は 2000 年から 2016 年の間にほぼ 100 万人減少したが、2016 年でもなお 140 万人の死亡原因となっている。同様に、結核の死亡者数も、同じ期間に減少したものの 130 万人が死亡し、原因トップ 10 に並び続けている。HIV エイズは、2000 年に 150 万人だったのに比べて 2016 年には死亡者数が 100 万人となり、世界の死亡原因トップ 10 からは外れている。道路交通傷害では 2016 年に 140 万人が死亡しており、その 4 分の 3（74%）は男性及び男児である。

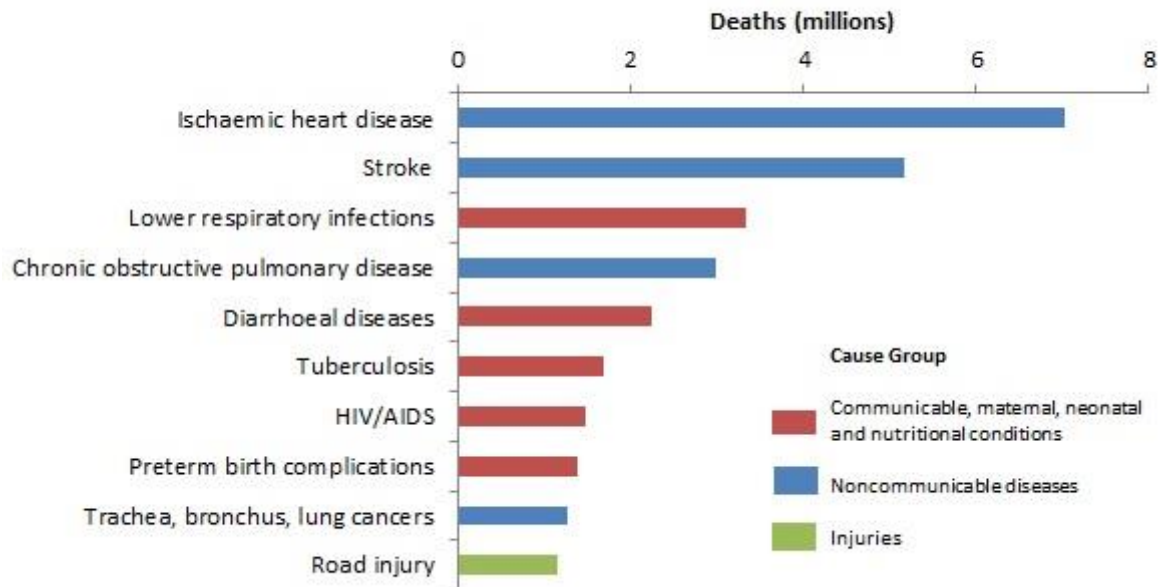
Top 10 global causes of deaths, 2016



Source: Global Health Estimates 2016: Deaths by Cause, Age, Sex, by Country and by Region, 2000-2016. Geneva, World Health Organization, 2018.

Top 10 causes of death globally 2016	2016 年世界死亡原因トップ 10
Ischaemic heart disease	虚血性心疾患
Stroke	脳卒中
Chronic obstructive pulmonary disease	慢性閉塞性肺疾患
Lower respiratory infections	下気道感染症
Alzheimer disease and other dementias	アルツハイマーその他認知症
Trachea, brochus, lung cancers	気管、気管支、肺がん
Diabetes mellitus	糖尿病
Road injury	道路交通傷害
Diarrhoeal diseases	下痢性疾患
Tuberculosis	結核

Top 10 global causes of deaths, 2000



Source: Global Health Estimates 2016: Deaths by Cause, Age, Sex, by Country and by Region, 2000-2016. Geneva, World Health Organization, 2018.

Top 10 causes of death globally 2000	2000 年世界死亡原因トップ 10
Ischaemic heart disease	虚血性心疾患
Stroke	脳卒中
Lower respiratory infections	下気道感染症
Chronic obstructive pulmonary disease	慢性閉塞性肺疾患
Diarrhoeal diseases	下痢性疾患
Tuberculosis	結核
HIV/AIDS	HIV エイズ
Preterm birth complications	早産合併症
Trachea, brochus, lung cancers	気管、気管支、肺がん
Birth asphyxia and birth trauma	新生児仮死及び出生時損傷

経済所得グループ別の主要死亡原因

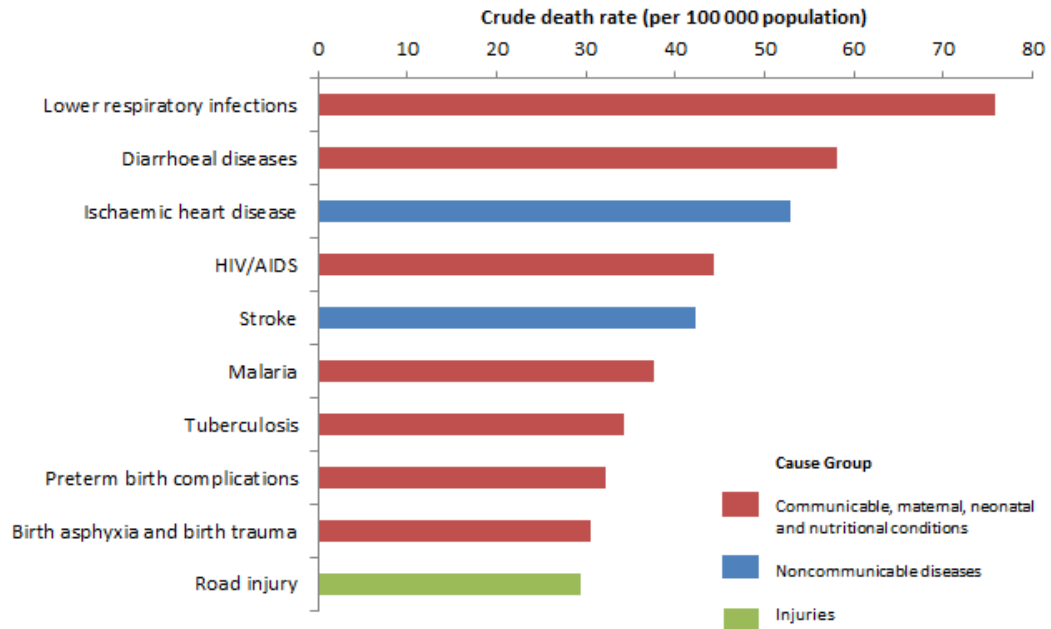
低所得国における 2016 年の全死亡の半分以上は、いわゆる「グループ I」と呼ばれる条件で起こっており、そこには、感染症及び妊産婦の原因、妊娠と出産の間に生じる様々な状況並びに栄養不足が含まれる。対照的に、高所得国ではそれらの原因での死亡は 7%以下である。下気道感染症は、全ての所得グループを通じて主要な死亡原因となっている。

非感染性疾患(NCD)は、世界全体で死亡原因の 71%を占めるが、低所得国では 37%、高所得国では 88%と幅がある。高所得国では、死亡原因トップ 10 のうち一つを除いてすべてが NCD である。しかしながら絶対数では、NCD が原因での世界中の死亡の 78%は低所得及び中所得国で発生している。

2016 年に傷害では 490 万人近くが死んでいる。それらの死亡の 4 分の 1 以上 (29%) は道路交通傷害によるものである。道路交通傷害による死亡率では、世界全体で人口 10 万人当たり 18.8 人に対して低所得国が 29.4 人と最も高い率となっている。道路交通傷害は、低所得国、低中所得国、高中所得国で死亡原因トップ 10 の中に入っている。

出典: Global Health Estimates 2016: Deaths by Cause, Age, Sex, by Country and by Region, 2000-2016. Geneva, World Health Organization; 2018.

Top 10 causes of deaths in low-income countries in 2016

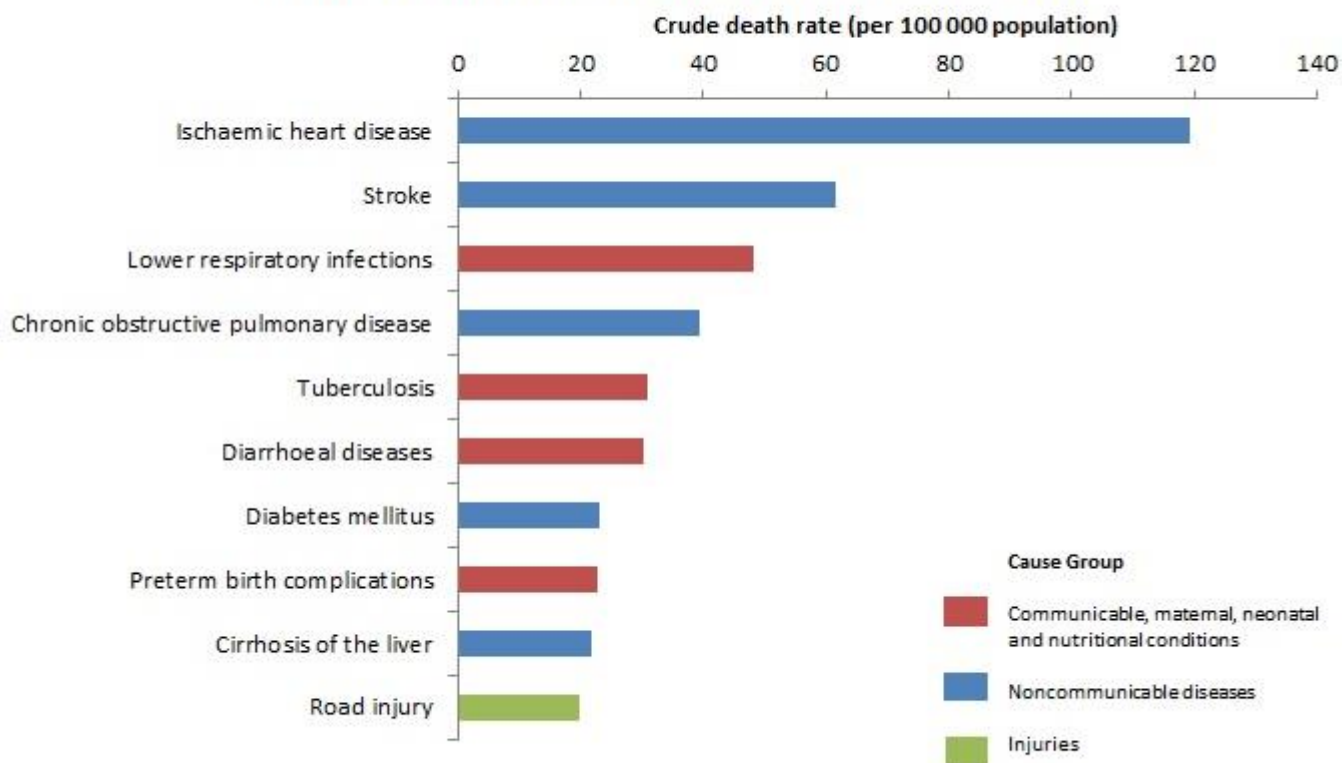


The top 10 causes of death in low-income countries in 2016

2016 年低所得国の死亡原因トップ 10

Lower respiratory infections	下気道感染症
Diarrhoeal diseases	下痢性疾患
Ischaemic heart disease	虚血性心疾患
HIV/AIDS	HIV エイズ
Stroke	脳卒中
Malaria	マラリア
Tuberculosis	結核
Preterm birth complications	早産合併症
Birth asphyxia and birth trauma	新生児仮死及び出生時損傷
Road injury	道路交通傷害

Top 10 causes of deaths in lower-middle-income countries in 2016

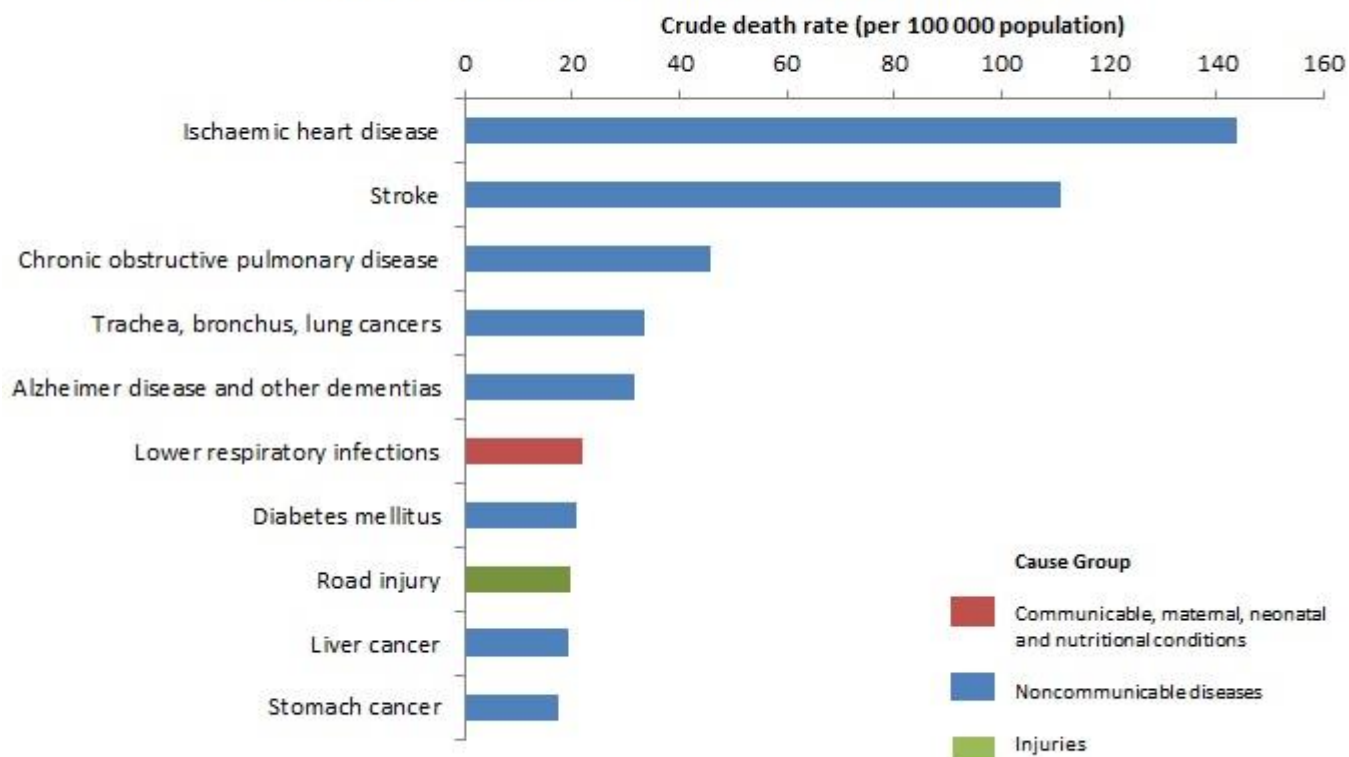


The top 10 causes of death in lower-middle-income countries in 2016

2016 年低中所得国の死亡原因トップ 10

Ischaemic heart disease	虚血性心疾患
Stroke	脳卒中
Lower respiratory infections	下気道感染症
Chronic obstructive pulmonary disease	慢性閉塞性肺疾患
Tuberculosis	結核
Diarrhoeal diseases	下痢性疾患
Diabetes mellitus	糖尿病
Preterm birth complications	早産合併症
Cirrhosis of the liver	肝硬変
Road injury	道路交通傷害

Top 10 causes of deaths in upper-middle-income countries in 2016

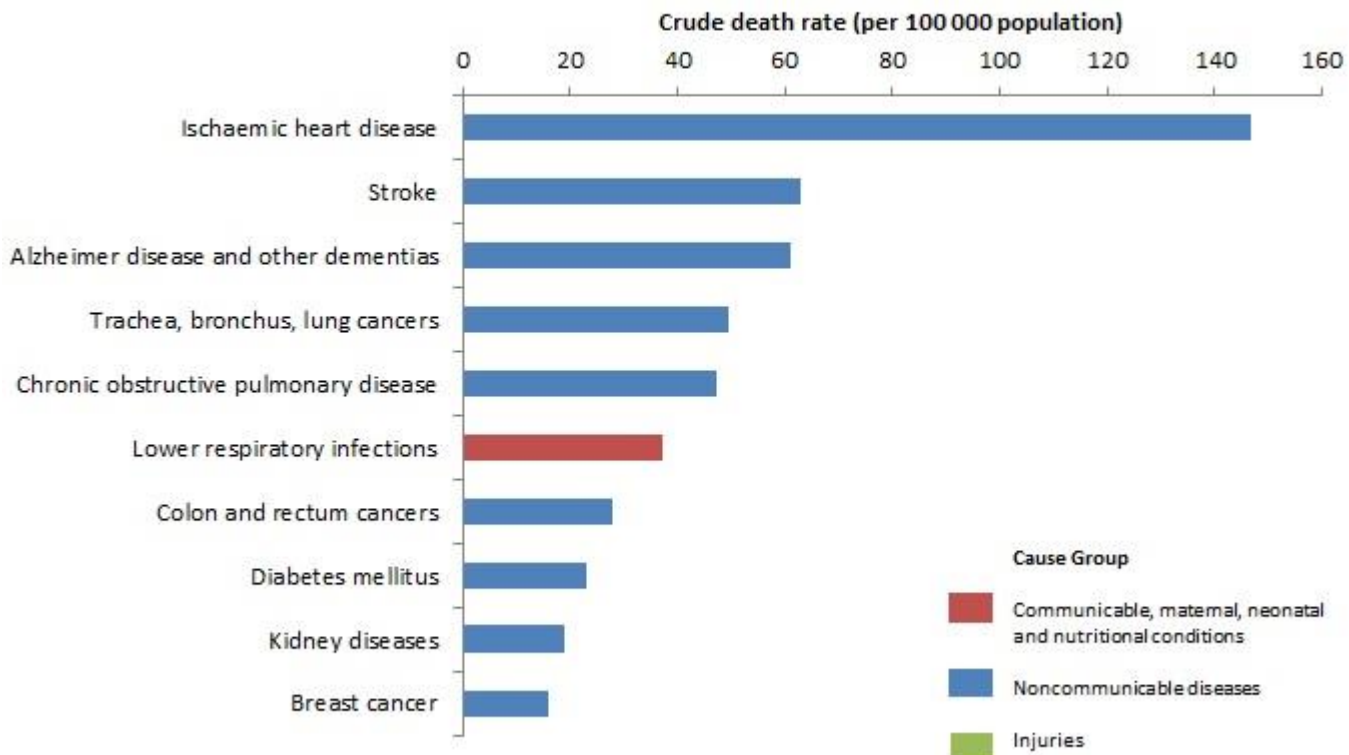


The top 10 causes of death in upper-middle-income countries in 2016

2016 年高中所得国の死亡原因トップ 10

Ischaemic heart disease	虚血性心疾患
Stroke	脳卒中
Chronic obstructive pulmonary disease	慢性閉塞性肺疾患
Trachea, brochus, lung cancers	気管、気管支、肺がん
Alzheimer disease and other dementias	アルツハイマーその他認知症
Lower respiratory infections	下気道感染症
Diabetes mellitus	糖尿病
Road injury	道路交通傷害
Liver cancer	肝臓がん
Stomach cancer	胃がん

Top 10 causes of deaths in high-income countries in 2016



The top 10 causes of death in high-income countries in 2016

2016 年高所得国の死亡原因トップ 10

Ischaemic heart disease	虚血性心疾患
Stroke	脳卒中
Alzheimer disease and other dementias	アルツハイマーその他認知症
Trachea, brochus, lung cancers	気管、気管支、肺がん
Chronic obstructive pulmonary disease	慢性閉塞性肺疾患
Lower respiratory infections	下気道感染症
Colon and rectum cancer	大腸、直腸がん
Diabetes mellitus	糖尿病
Kidney diseases	腎臓病
Breast cancer	乳がん

なぜ私達は人々の死亡原因を知る必要があるのか？

毎年何人の人が死に、なぜ死んだのかを調べることは、病気や怪我が人々にどのような影響を与えるかを測定することと同様に、国の保健システムの有効性を評価する上で最も重要な方法の一つである。

死因統計は、保健当局が公衆衛生活動の焦点を決定するのに役立つ。例えば、ある国で心臓病や糖尿病による死亡が2、3年の間に急上昇した場合、その国では、これらの病気を予防するライフスタイルを奨励する積極的なプログラムの実施効果が高いことがわかる。同様に、もしある国で多くの子どもたちが肺炎で死亡し、一方でごく一部の保健予算しか効果的な治療に充てられていないことが分かった場合には、この分野での支出を増やすべきであることがわかる。

高所得国には、人口の死亡原因に関する情報収集システムがある。多くの低・中所得国ではそのようなシステムがなく、特定の原因による死亡数は不完全なデータから推定しなければならない。より精度の高い死亡原因データを作成することは、これらの国で健康を増進し、予防可能な死亡を減少させるために必要である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートについて、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

The top 10 causes of death

ファクトシート原文は [こちら](#)